



学び  
支え合う  
定時制

# 徳高定時制だより

第 11 号  
令和8年3月

## 令和7年度 卒業証書授与式

令和8年3月1日(日)、卒業証書授与式を挙行政いたしました。今年度の卒業生は4名で、晴れの舞台に臨む皆さんの表情には、これまでの努力を誇らしげに語るような凛とした輝きがありました。

式辞の冒頭で校長先生は、「自分の中にある砂金を信じてほしい」と語られました。現代はタイパやコスパといった効率が重視され、働き方改革の流れのなかで、私たちは成果や即効性に意識を向けざるを得ない場面が増えている。しかし、学校生活の中で積み重ねてきた経験は、一つひとつは小さく目に見えにくいものの、確かに胸の奥に残り続ける砂金のようなものであると述べられました。

さらに太宰治の言葉「覚えるのと同時に忘れていく」に触れられました。人は多くを学びながら、そのすべてを完璧に留めておくことはできないけれども、その忘れていく過程の中で、不思議と手のひらに残るものがある。そして、それこそが自分だけのひとつかみの砂金なのだ。その砂金が、困難に向かう勇気や、仲間を支える力、そして未来を切り開く原動力になるのだと力強く述べられました。

最後に、「この節目の機会を逃さず、支えてくれた家族や仲間に、どうか感謝の気持ちを言葉にして伝えてください」と卒業生へ呼びかけられました。

4名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんのこれからの歩みが実り多く、明るい未来へとつながっていきますよう、教職員一同心より応援しています。



### 4月の主な行事

4月 8日(水) 始業式、入学式